

2023年6月20日

一般財団法人 コージェネレーション・エネルギー高度利用センター
(コージェネ財団)

2023年度コージェネ海外視察調査の実施について

拝啓 貴社ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当財団の運営に対しまして格別のご理解・ご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、9月24日(日)より9月30日(土)にかけて、2023年度コージェネ海外視察調査の実施を企画しております。

今回は4年ぶりの開催ということで柏木理事長を団長とし、COGEN Europeをはじめとする欧州のエネルギー関連機関との情報交換や議論、ならびに“調整力”と“水素”に関する先行事例の視察を中心に計画しております。

有意義な視察となるよう努めて参りますので、ご参加のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 目的

欧州諸国は世界に先駆けて脱炭素社会に向けて大きく舵を切ったが、ロシアのウクライナ侵攻により、石炭火力の発電量が増加しているなど、脱炭素とエネルギー安全保障との両立が困難な状況に直面している。これらの情勢も受けEUタクソミーにおいては、天然ガスは「グリーン」な経済活動に従来は含まれていなかったが、2022年7月に改正案が承諾され、現在では「グリーン」な経済活動として位置づけられるようになっている。

今回、欧州のエネルギー関連機関を訪問し、現地当事者らとの情報交換や議論を通して、欧州の環境・エネルギー政策の「変化」と「今後の動向」、コージェネ市場への影響と対応状況について、リアルな声を聴くことを第一の目的としている。

また、コージェネがカーボンニュートラルに貢献するためのキーワードとして、『調整力』と『水素』に注目が集まっている。欧州では早期から需給調整市場が整備されており、コージェネを『調整力』として上手に活用している先行事例が報告されている。『水素』についても、国家戦略こそ日本が先んじて発表しているが、欧州の水素利用におけた環境整備のスピードは目覚ましく、日本を超える勢いである。欧州における『調整力』と『水素』の利活用に関して、現地視察と議論を通じて理解を深めることを第二の目的とする。

2. 実施時期

2023年9月24日(日)～30日(土) 6泊7日(機中1泊含)

3. 対象

会員

4. 参加者

コージェネ財団 柏木理事長
コージェネ財団 会員各社
コージェネ財団 事務局 <総員 10~15名>

5. 参加費用（渡航滞在費の概算）

約 100 万円（エコノミー航空券利用で団体割引適用の場合）

6. 訪問先候補（案）

※ 計画段階であり、変更となる可能性があります。

1) COGEN Europe

場所 : ベルギー ブリュッセル
目的 : カーボンニュートラルの実現に向けたコージェネの役割、現状の課題、今後の方向性について、市場、技術、政策的な視点から欧州および日本の状況について情報交換と議論を行う。

2) 欧州委員会 共同研究センター（JRC）

場所 : オランダ ペッテン
目的 : 欧州委員会に属する研究機関である JRC では、経済政策から健康・食品に関する研究まで、広範囲にわたる研究を通して政策支援を行っている。中でもペッテンは環境・エネルギー研究の拠点であり、水素の利活用に向けた研究を行っている。今回は水素関連の研究施設を視察することで、欧州における水素利活用の展望を調査する。

3) Fuji Oil Europe

場所 : ベルギー ゲント
目的 : 調整力市場の整備が先行している欧州におけるコージェネの活用事例について現地視察を行う。

キーワード：コージェネ、調整力、VPP、アグリゲータ

概要：Fuji Oil Europeでは1.57MWのコージェネを導入し、平常時は電気と熱を自家消費しながら省エネに取り組んでいる。電力系統の逼迫時には、アグリゲータを介して下げDRのリソースとしてコージェネを活用することで経済性を向上させている。

4) アントワープ港

場所：ベルギー アントワープ (アントウェルペン)

目的：将来的に欧州の水素ハブとして期待されているアントワープ港を訪問し、水素パイプラインによるコンビナートの脱炭素化プロジェクトについて、実際に参画している企業へのヒアリングを含め現地視察と関係者との議論を行う。

キーワード：水素

概要：ベルギー及びオランダ臨海部は欧州を代表する石油化学コンビナートや化石燃料（石炭、石油、LNG）の運搬拠点として形成されており、将来的に欧州の水素の輸入・輸送拠点として成長する可能性を有している。その中でも、アントワープ港は輸入液体水素+水素パイプラインによるコンビナートの脱炭素化ロードマップを描いている。

(参考) 訪問先候補の位置関係



7. 募集締め切り

回答期限：2023年7月21日（金）

8. スケジュール（案）

日時	時刻	交通機関	場所	アクティビティ
9/24 (日)	AM	航空機	東京発	
	PM		アムステルダム着	アムステルダム泊
9/25 (月)	AM	バス	アムステルダム⇒パッテン (約 1.0 時間)	欧州委員会 JRC 訪問
	PM	バス	パッテン⇒アムステルダム (約 1.0 時間)	市内観光 アムステルダム泊
9/26 (火)	AM	バス	アムステルダム⇒アントワープ (約 2.0 時間)	
	PM	バス	アントワープ⇒ブリュッセル (約 1.0 時間)	アントワープ港訪問 ブリュッセル泊
9/27 (水)	AM	バス	ブリュッセル	COGEN Europe 訪問
	PM		ブリュッセル	市内観光 ブリュッセル泊
9/28 (木)	AM	バス	ブリュッセル⇒アントワープ (約 1.0 時間)	London City Airport 訪問
	PM	バス	アントワープ⇒ブリュッセル (約 1.0 時間)	市内観光 ブリュッセル泊
9/29 (金)	AM	航空機	ブリュッセル発	
	PM			
9/30 (土)	AM		東京着	

以 上